

子育て支援に関する市民ニーズ調査

【小学生の保護者用】

調査へのご協力をお願い

日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、京都市では、子育て支援施策をさらに推進していくため、小学校のお子さまがおられるご家庭の中から無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施することとなりました。

回答は、以下二次元コードを読み取りのうえご入力いただくか、同封の用紙にご記入ください。

この調査は、皆さまの子育ての状況や子どもや子育て支援に関するご意見等をお聞かせいただき、今後の京都市の子育て支援施策の充実に向けた基礎資料とするために行う、非常に重要なものです。

なお、無記名でご回答いただきますので、どなたのご回答かはわからないようになっています。また、回答された内容はすべて統計的に処理され、目的外に使用することはございません。

大変お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年12月

京都市長 門川大作

回答にあたってのお願い

1. このアンケートは、封筒の宛名のお子さまの保護者の方がご回答ください。
2. 注意書きがある場合を除き、封筒の宛名のお子さまについてご回答ください。
3. 設問により、回答数が異なります。
4. 設問により、回答いただく方が限られています。
5. 「その他」をお選びいただいた場合は、（ ）内に具体的な内容をご回答ください。
6. 回答しづらい質問については空欄としてください。
7. アンケートの締切日は、**「令和5年12月25日」**となっております。
8. 同封の用紙で回答された場合は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストにご投函ください。
9. アンケート結果は、令和6年4月以降に、京都市ホームページにおいて公表する予定です。

◎本調査は、WEB回答でも受け付けております。スマホ・パソコン・タブレットで下記二次元コードより入っていただき、ID・パスワードを入力の上、回答をお願いします。

◆WEB専用回答ページ

<https://en.surece.co.jp/2023kyoto12/>



ID

パスワード

※ID・パスワードは、調査専用画面に入るための認証キーです。回答者を特定するためのものではありません。

【問合せ先・返送先】

株式会社サーベイリサーチセンター大阪事務所

フリーダイヤル：0120-186-189

受付時間：月～金曜日（土曜・日曜・祝日除く） 午前9時～午後5時

お子さまとご家族の状況について

問1 宛名のお子さまの年齢をご回答ください。(令和5年10月1日現在)

() 歳

問2 お住まいの区をご回答ください。

() 区

問3 家族の人数(ご自身や宛名のお子さまも含む。)をご回答ください。

家族の人数	お子さまの人数		
	小学校入学前	小学生	中学生以上
人	人	人	人
	末子の生年月 平成・令和()年()月		

問4 この調査票を回答されている方はどなたですか(宛名のお子さまからみた関係)。(○は1つ)

1. 父 2. 母 3. その他()

問5(1) 宛名のお子さまとの同居・近居の状況についてご回答ください(宛名のお子さまからみた関係)。(複数回答可)

1. 父母と同居 2. 父と同居(ひとり親家庭) 3. 母と同居(ひとり親家庭)
 4. 祖父と同居 5. 祖母と同居 6. 祖父と近居
 7. 祖母と近居 8. その他()

※「近居」は、概ね徒歩30分以内で行き来できる範囲。

問5(2) 宛名のお子さまの父母の年齢をご回答ください。(令和5年10月1日現在)

父【母子家庭の場合は記載不要です】	母【父子家庭の場合は記載不要です】
() 歳	() 歳

問6 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方はおられますか(続柄は宛名のお子さまからみた関係)。(複数回答可)

1. いない 2. 本人 3. 父 4. 母 5. 兄 6. 姉
 7. 弟 8. 妹 9. 祖父 10. 祖母 11. その他()

問7 あなたの世帯の昨年1年間(令和4年1月1日～同年12月31日)の可処分所得(実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入)はおおよそどのくらいですか。(○は1つ)

1. 0～100万円 2. 101万～200万円 3. 201万～300万円
 4. 301万～400万円 5. 401万～500万円 6. 501万～600万円
 7. 601万～800万円 8. 801万～1,000万円 9. 1,001万円以上

問8(1) 日頃、お子さまを預けられる人についてご回答ください。(複数回答可)。また、日常的に預けられている場合は、日数や時間帯をご回答ください(「9時～18時」のように24時間制で)。

1. 1週間の内、定期的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる
 ↳ 週()日 預けている ()時()分から()時()分まで
2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる
3. 1週間の内、定期的に子どもを預けられる友人・知人がいる
 ↳ 週()日 預けている ()時()分から()時()分まで
4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9 宛名のお子さまの育児や家事等に主に関わっている方はどなたですか。(複数回答可)

	父	母	子ども自身で できる	祖父	祖母	その他
① 洗濯をする	1	2	3	4	5	6()
② 食料品等の日常的な買い物をする	1	2	3	4	5	6()
③ 家族や子どもの食事をつくる	1	2	3	4	5	6()
④ 子どもに食事を食べさせる	1	2	3	4	5	6()
⑤ 子どもを風呂に入れる	1	2	3	4	5	6()
⑥ 子どもと遊ぶ	1	2	3	4	5	6()
⑦ 子どもの着替え	1	2	3	4	5	6()
⑧ 学童クラブ・放課後等デイサービス等や習い事、塾等の送り迎えをする	1	2	3	4	5	6()
⑨ 子どもを寝かしつける	1	2	3	4	5	6()
⑩ 子どもをしつける	1	2	—	4	5	6()
⑪ 子どもに本を読み聞かせる	1	2	3	4	5	6()
⑫ 子どもの宿題や勉強を見る	1	2	3	4	5	6()
⑬ 予防接種や健診に連れて行く	1	2	—	4	5	6()
⑭ 子どもが病気の際に看病したり病院に連れて行ったりする	1	2	—	4	5	6()
⑮ 子ども会や子育てサークル、町内会や地蔵盆等の子どもに関する地域活動に参加する	1	2	3	4	5	6()



お子さまのお父さん、お母さんの就労状況について

問10(1) 父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）について、「1～5」の中からお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）
就労している方は、〔 〕に数字（時刻の場合は「18時頃」のように24時間制で）をご回答ください。就労時間については、30分以上の端数は切上げ、30分未満は切下げてご回答ください。

例：1日の就労時間が6時間30分の場合→「7時間」と回答

1日の就労時間が6時間29分の場合→「6時間」と回答

※「フルタイム」とは、1週5日・1日8時間程度の就労をいいます。

父	母
1. 就労中（フルタイム） →1週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1週あたり [] 日 1日あたり [] 時間 家を出る時間 [] 時頃 帰宅時間 [] 時頃	1. 就労中（フルタイム） →1週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1週あたり [] 日 1日あたり [] 時間 家を出る時間 [] 時頃 帰宅時間 [] 時頃
2. 就労中（フルタイム）だが育休・介護休業中	2. 就労中（フルタイム）だが育休・介護休業中
3. 就労中（パートタイム、アルバイト等） →1週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1週あたり [] 日 1日あたり [] 時間 家を出る時間 [] 時頃 帰宅時間 [] 時頃	3. 就労中（パートタイム、アルバイト等） →1週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1週あたり [] 日 1日あたり [] 時間 家を出る時間 [] 時頃 帰宅時間 [] 時頃
4. 就労中（パートタイム、アルバイト等）だが育休・介護休業中	4. 就労中（パートタイム、アルバイト等）だが育休・介護休業中
5. 現在就労していない ⇒問10(3)、(4)へ	5. 現在就労していない ⇒問10(3)、(4)へ

《問10(1)で「1～4」と答えた方にうかがいます。》

問10(2) フルタイムまたはパートタイム等への転換希望はありますか。（○はそれぞれ1つずつ）

	父	母
① フルタイムへの転換を希望している	1	1
② フルタイムへの転換を希望しているが転換できる見込みはない	2	2
③ パートタイム、アルバイト等への転換を希望している	3	3
④ 現在の就労を継続したい	4	4
⑤ 就労をやめたい	5	5

《問10(1)で「5」と答えた方にうかがいます。》

問10(3) 現在就労していない主な理由は何ですか。（○はそれぞれ1つずつ）

	父	母
① 配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため	1	1
② 子育てのため	2	2
③ 家族・親族等の看護・介護のため	3	3
④ 健康上の問題があるため	4	4
⑤ 家族の理解が得られないため	5	5
⑥ 条件に合った仕事が見つからないため	6	6
⑦ その他（（ ）内に理由を回答）	7（ ）	7（ ）

《問10(1)で「5」と答えた方にうかがいます。》

問10(4) 現在就労していない方は今後、就労を希望していますか。(○はそれぞれ1つつ)あわせて、[]に数字をご回答ください。

父	母
1. 就労は希望していない	1. 就労は希望していない
2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい	2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい
3. 看護、介護等が必要なくなれば就労したい	3. 看護、介護等が必要なくなれば就労したい
4. 1年以内に就労したい	4. 1年以内に就労したい
→ (「2～4」の場合) 希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1週あたり[]日 1日あたり[]時間	→ (「2～4」の場合) 希望する就労形態 ① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1週あたり[]日 1日あたり[]時間

お子さまの病気・病後時の対応について

問11(1) この1年間に、宛名のお子さまが病気や病気の回復期であるために、学校を休まなければならなかったことはありましたか。(○は1つ)

1. あった ⇒問11(2)へ 2. なかった ⇒問12(1)へ

《問11(1)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問11(2) この1年間との対象方法とそれぞれの日数をご回答ください。(複数回答可)

- | | | |
|----------------------------|------------|------------|
| 1. 父が仕事を休んだ | () 日 | } ⇒問11(3)へ |
| 2. 母が仕事を休んだ | () 日 | |
| 3. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた | () 日 | |
| 4. 子どもを仕事に同行させた | () 日 | |
| 5. 病児・病後児保育事業を利用した | () 日 | |
| 6. ベビーシッターを利用した | () 日 | |
| 7. ファミリーサポート事業を利用した | () 日 | |
| 8. その他 () () 日 | | |
| 9. 就労していない母または父がみた | () 日 | |
- ⇒問12(1)へ

《問11(2)で「1～4」と答えた方にうかがいます。》

問11(3) その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたが。(○は1つ)また利用したい日数についてもご記入ください。

- | | | |
|----------------------------------|--------------|--------------|
| 1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい | → () 日 | ⇒問11(4)、(5)へ |
| 2. できれば家庭等で面倒をみてあげたい(利用したいと思わない) | | ⇒問12(1)へ |

《問 11(3)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問11(4) 病気または病後の子どもを預ける場合、どのような事業を希望しますか。(複数回答可)

1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業
2. 看護師、保育士等1名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業
3. 地域住民が子どもの居宅等の場所で、子どもを預かる事業(例:ファミリーサポート事業)
4. その他 ()
5. どのような事業でもよい

《問 11(3)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問11(5) 病児・病後児保育事業等を実際に利用しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた
2. 親族・知人に預けることができた
3. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
4. 事業実施施設に空きがなかった
5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない
6. 事業の実施時間(原則平日の8時~18時)が合わない
7. 利用料がかかる・高い
8. 事業の質に不安がある
9. 事業の利用方法や事業実施施設がわからない
10. そのような事業があることを知らなかった
11. その他 ()

お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて

問12(1) 宛名のお子さまについて、この1年間に、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。(複数回答可)。利用したことがある場合は、()内にそれぞれの日数(半日程度でも1日とみなします)をご回答ください。

1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた () 日
2. 子育て支援短期利用事業(トワイライトステイ)を利用した () 日
3. ファミリーサポート事業を利用した () 日
4. 認可外保育施設・ベビーシッターを利用した () 日
5. 児童館を利用した () 日
6. その他 () () 日
7. 利用していない ⇒問 12(2)へ

《問 12(1)で「7」と答えた方にうかがいます。》

問12(2) 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 特に利用する必要がない
2. 事業実施施設に空きがない
3. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない
4. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない
5. どこで実施しているかわからない
6. 利用料がかかる・高い
7. 事業の質に不安がある
8. 事業の対象者や利用方法(手続き等)がわからない
9. そのような事業があることを知らなかった
10. その他 ()

お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて

問13(1) 宛名のお子さまについて、この1年間に、泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと（預け先が見つからなかった場合を含む。）はありましたか。（○は1つ）

1. あった ⇒問 13(2)へ

2. なかった ⇒問 14(1)へ

《問 13(1)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問13(2) この1年間の対処方法とそれぞれの泊数をご回答ください。（複数回答可）

- | | | |
|-----------------------|-------|--------------------------|
| 1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた | () 泊 | } ⇒問 13(3)へ
⇒問 14(1)へ |
| 2. ショートステイ事業を利用した | () 泊 | |
| 3. 認可外保育施設を利用した | () 泊 | |
| 4. ベビーシッターを利用した | () 泊 | |
| 5. 仕方なく子どもを同行させた | () 泊 | |
| 6. その他 () | () 泊 | |

《問 13(2)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問13(3) その際は預かってもらいやすい状況でしたか。（○は1つ）

1. 預かってもらいやすかった（特に預かってもらいにくくはなかった）
2. どちらかというと、預かってもらいにくかった
3. とても預かってもらいにくかった

育児休業や短時間勤務制度の職場の両立支援制度について

問14(1) 宛名のお子さまが生まれたときの育児休業の取得について、父母それぞれに対してお答えください。（○は1つ）

	父	母
① 取得していない ⇒問 14(2)へ	1	1
② 取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した	2	2
③ 取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった ⇒問 14(3)へ	3	3
④ 取得中である	4	4
⑤ 育児休業取得中に離職した ⇒問 14(4)へ	5	5
⑥ 就労していなかった	6	6

《問 14(1)で「1」と答えた方にうかがいます。》

問 14(2) その方が、育児休業を取得していない理由は何ですか。(複数回答可)

	父	母
① 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
② 仕事が忙しかった	2	2
③ (産前産後休業後に) 仕事に早く復帰したかった	3	3
④ 仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
⑤ 昇給・昇格等が遅れそうだった	5	5
⑥ 収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
⑦ 保育施設等に預けることができた	7	7
⑧ 配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
⑨ 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
⑩ 子育てや家事に専念するため退職した	10	10
⑪ 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	11	11
⑫ 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
⑬ 育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
⑭ 産前産後休業(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	14	14
⑮ その他	15()	15()

《問 14(1)で「3」と答えた方にうかがいます。》

問14(3) その方が、短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

	父	母
① 職場復帰後に退職したので、利用の必要がなかった	1	1
② 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、利用の必要がなかった	2	2
③ 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった	3	3
④ 仕事が忙しかった	4	4
⑤ 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	5	5
⑥ 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	6	6
⑦ 職場に制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	7	7
⑧ 制度を利用できることを知らなかった	8	8
⑨ その他(()内に理由を記入)	9()	9()

《問 14(1)で「5」と答えた方にうかがいます。》

問14(4) その方が、離職した理由は何ですか。(複数回答可)

	父	母
① 保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった	1	1
② 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった	2	2
③ 制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった	3	3
④ その他 (() 内に理由を記入)	4 ()	4 ()

問14(5) 育児休業は、法律上「最長2年間」取得することができますが、希望としては、子どもが何歳何か月のときまで取得したい(取得したかった)ですか。

父	母
() 歳 () か月	() 歳 () か月

問15 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に最優先で取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実
2. 産前や産後の休暇が十分にとれる制度・施策の充実
3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備
4. 育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい環境の整備
5. 子育ての間は、残業や出張などを免除する制度
6. 子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度
7. 子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度
8. 子どもの用事(学校行事、病気など)の時に休める制度や時間単位休暇制度
9. 事業所内に子どもが預けられる施設などの整備
10. 育児相談の実施
11. 出産や育児のために仕事を辞めた女性の再雇用制度の充実
12. 女性の就労継続に対する企業などの理解や支援
13. その他 ()
14. 特にない

問16 「真のワーク・ライフ・バランス」の実現のために、企業等にどのようなことに取り組んでほしいと思いますか。(〇は3つまで)

※「真のワーク・ライフ・バランス」とは

京都市が提唱する仕事と家庭生活の単なる「時間のバランス」を超え、人間らしくいきいきと効率的に働き、同時に育児や介護等の家庭生活も大事にする考え方は。また、地域活動や社会貢献活動が調和することで、人間力が高まり、心豊かな充実した人生を送ることができるという考え方は。

1. 長時間労働の抑制
2. 年次有給休暇の取得促進
3. 労働者の実情に配慮した短時間勤務など多様な働き方への対応
4. パートタイム労働者の均衡処遇の推進
5. テレワーク（在宅勤務）の普及促進
6. 育児休業制度の充実
7. 子どもの看護休暇等の定着
8. 学校行事等に参加しやすい時間単位休暇制度などの導入
9. どのような働き方をしても、公正に処遇・評価される人事制度の確立
10. 地域活動等に関する休暇制度の導入
11. その他（)
12. 特にない



子育て支援・相談などについて

問17(1) 子育てをされていて、「楽しい」「良かった」と最も感じること、感じる時についてお答えください。(複数回答可)

1. 家族のきずなが深まった
2. 他人の子どもや他人に対して優しくなれた
3. 子どもに多くのことを教えられた
4. ものの見方や価値観が変わった
5. 子どもが見出す新鮮な発見が楽しい
6. 家庭の雰囲気がなごやかになった
7. 子どもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）
8. 子どもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた
9. 子どもが家族のために優しい気配りやお手伝いなどをしてくれた時
10. 子どもが他の子ども（友達）のために優しい気配りなどをしてくれた時
11. その他（)
12. 特にない

問17(2) 子育てをしていて、日頃不安に感じていることはありますか。(○はそれぞれ1つつ)

	不安 ではない	あまり不安 ではない	どちらとも いえない	少し不安 である	不安 である
① 子どものしつけ	1	2	3	4	5
② 子どもの教育	1	2	3	4	5
③ 子どもの教育費	1	2	3	4	5
④ 子どもの遊び	1	2	3	4	5
⑤ 子どもを遊ばせる場所	1	2	3	4	5
⑥ 子どもの友達付き合い	1	2	3	4	5
⑦ 子どもを預けられる施設や条件	1	2	3	4	5
⑧ 子どもの食事や栄養	1	2	3	4	5
⑨ 子どもの病気や発育・発達	1	2	3	4	5
⑩ 子どもの医療費	1	2	3	4	5
⑪ 子どもの将来	1	2	3	4	5
⑫ 子どもと接する時間	1	2	3	4	5
⑬ 家族の中での子育て観	1	2	3	4	5
⑭ 配偶者の子育てへの協力	1	2	3	4	5
⑮ 子育てに対する自信	1	2	3	4	5
⑯ 書籍やインターネット等の情報 どおりにならない	1	2	3	4	5
⑰ 子育てと自分の生きがいや仕事 との関係	1	2	3	4	5
⑱ 自分の話し相手や相談相手	1	2	3	4	5
⑲ 自分の時間、心のゆとり	1	2	3	4	5
⑳ 自分の健康	1	2	3	4	5
㉑ その他 ()	1	2	3	4	5

問18 宛名のお子さまを育てるうえで、日頃気になることを、どこにまたは誰に相談していますか。
(○は3つまで)

1. 配偶者・パートナー
2. 祖父母等の親族
3. 友人や近隣の住民
4. 職場の同僚
5. 子育てサークル等の仲間
6. 幼稚園・保育施設・療育施設等や学校の保護者仲間
7. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設・療育施設等
8. 区役所・支所子どもはぐくみ室
9. 児童福祉センター
10. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）
11. 児童館
12. こどもみらい館
13. 民生委員・児童委員、主任児童委員
14. 医療機関
15. 電話相談機関
16. インターネットの相談・質問サイト
17. その他 ()
18. 相談相手がいない

問19 子育てに関する情報の入手方法を、行政と民間のそれぞれでご回答ください。(○はそれぞれ2つまで)

	入手方法
① 行政	1. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設・療育施設等 2. 上記以外の学校・幼稚園・保育施設・療育施設等 3. 市民しんぶん 4. 京都市のホームページ（京都市情報館や各区・支所子ども支援センターのHP） 5. 京都市公式ソーシャルメディア（X(旧 Twitter)、YouTube、Facebook、アプリ） 6. 京都市子育てアプリ「京都はぐくみアプリ」 7. 京都市が発行する子育て応援パンフレット 8. 区役所・支所子どもはぐくみ室の発行物等 9. 児童福祉センター（児童相談所・発達相談所） 10. こどもみらい館の発行物等 11. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場） 12. 親と子のこころのほっとライン 13. 児童館の発行物等 14. その他（ ）
② 民間	1. 配偶者・パートナー 2. 祖父母等の親族 3. 友人や近隣の住民 4. 職場の同僚 5. 子育てサークル等の仲間 6. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間 7. 民生委員・児童委員、主任児童委員 8. 電話相談機関 9. 医療機関 10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等 11. インターネットの子育て情報サイト 12. その他（ ）



問20(1) 宛名のお子さまは朝食・夕食を1週間に何日程度食べていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	ほぼ毎日	週に4～5日	週に2～3日	ほとんど食べない	わからない
① 朝食	1	2	3	4	5
② 夕食	1	2	3	4	5

問20(2) 宛名のお子さまは、朝食・夕食を誰と食べる人が多いですか。(複数回答可)

	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい (兄弟姉妹)	本人(お子 さま)のみ	その他 ()	わからない
① 朝食	1	2	3	4	5	6	7	8
② 夕食	1	2	3	4	5	6	7	8

問21(1) 京都市の子育て環境で、充実していると思うことは何ですか。(複数選択可)

1. 子どもの医療環境の充実
2. 教育環境（学校・習い事等）の充実
3. 子ども向け体験型施設の充実
4. 子育て世帯に対する経済的支援の充実（保育料の補助、医療費削減など）
5. 子育てに関する相談体制の整備
6. 近隣保育所等での預かり保育
7. 子どもの安心安全な活動場所・遊び場の確保
8. 地域や社会全体での子育ての応援体制
9. 親や子供向け地域コミュニティの活動が活発であること
10. その他 ※できるだけ具体的に御記入ください。

()

問21(2) 住む場所を選ぶ際に何を重視しますか（○は3つまで）

1. 妊娠・出産の支援の充実
2. 育児休業制度の取得促進等の、仕事と子育ての両立支援の充実
3. 子育て環境の充実
4. 教育環境の充実
5. 文化芸術的環境の整備がなされていること
6. 安価な住宅の供給
7. 十分な広さや日照等、快適な住宅の供給
8. 公園等自然豊かな生活環境
9. 日常の買い物等で不便がないこと
10. 公共交通機関の充実
11. 就労先の選択肢が多いこと
12. その他 ※できるだけ具体的に御記入ください。

()

（自由記述）本アンケートや行政に期待する支援施策に関すること等で、ご意見がございましたらご記入ください。

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました！

● 用語説明

※ アンケートにご回答いただく際にご参照ください。

用 語	説 明
か	
学童クラブ事業	保護者の就労などで、放課後に保護する者がいない家庭の小学校就学児童を放課後に安全に保護し、かつ、健やかに育成する事業です。
子育て支援短期利用事業（ショートステイ）	児童を養育している家庭の保護者の方が病気、出産、冠婚葬祭、出張、育児疲れなどの理由で、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合に、その児童を施設において一時的に養育する事業です。（市内 2 箇所の乳児院、8 箇所の児童養護施設、2 箇所の母子生活支援施設、その他で実施）
子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）	児童を養育している家庭の保護者の方が仕事などの理由で、帰宅が夜間にわたるため、児童の家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合に、その児童を施設に通所させて生活指導、食事の提供等を行う事業です。（市内 8 箇所の児童養護施設、2 箇所の母子生活支援施設、その他で実施）
こども虐待SOS専用電話 （24 時間・365 日対応）	児童虐待をいち早く発見し、対応するため、また「子どもを叩いてしまいそう」といった悩みにいつでも応じられるよう、児童虐待に関する通告・相談専用電話（801－1919）を設置しています。
子どもはぐくみ室 （区役所・支所保健センター）	お住まいの地域の子どもと子育て家庭に関する総合相談窓口として、各区役所・支所に設置されています。切れ目のない支援や質の高い窓口サービスを提供し、自らも気づいておられないニーズも含めて、個々の家庭の状況やニーズに「気づき」、その過程が必要とする他の支援の利用に「つなぐ」、「子育て支援コンシェルジュ」として取組を行っています。
さ	
児童館	18 歳未満の児童に健全な遊びの機会を提供し、健康の増進と情操を豊かにするために設置された児童福祉施設です。子育て家庭への支援や児童に関する地域の活動センターとしての取組等も行っています。
児童福祉センター （児童相談所）	児童福祉法に基づく行政機関として設置されている児童相談所を中心に、障害のある子どもへの療育等を行う各種施設などが併設されています。センターでは、子育ての不安、発達の遅れ、障害、不登校、非行、子どもを家庭で育てられないなど、子どもに関するさまざまな相談に応じています。また、児童虐待の相談や通告も受け付けています。（市内に 2 箇所）
た	
地域子育て支援ステーション	身近な地域における子育て相談・ネットワークの拠点として、すべての保育園（所）・認定こども園・児童館を「地域子育て支援ステーション」に指定し、子育て講座等の開催や子育てに関する情報提供など、子育て中のご家庭に気軽に利用していただけるよう様々な取組を行っています。

用 語	説 明
な	
認可外保育施設	児童福祉法に基づく認可を受けていない保育施設の総称です。店舗において専ら顧客が一時的に利用するために設置されるもの等の一部の例外を除き、原則として京都市への設置の届出が必要です。
は	
病児・病後児保育	病氣中・病氣回復期のお子さんがある方で、仕事等の都合で家庭での育児ができない方のために、医療機関に付設された施設で一時保育を行っています。（病児・病後児保育：市内9施設、病児保育：市内1施設）
ファミリーサポート事業	育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助をしたい人（提供会員）とが会員となって、保育施設までの送迎や、買い物などで外出の際にお子さんを預かるなど、市民の方が互いに助け合う子育て支援事業です。
放課後ほっと広場	児童館等による学童保育を実施していない地域において、保護者の就労等で昼間留守になる家庭の低学年児のお子さんを、放課後安全に保護し、かつ、健やかに育成するために、小学校内で「学童クラブ機能」を有する事業を実施しています。
放課後まなび教室	学校施設を活用し、地域や保護者、学生等の参画を得ながら、放課後の子どもたちに、学習の習慣づけを図る「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を提供する取組です。
ま	
民生委員・児童委員	学区ごとに選出され、担当する地域において、それぞれの委員が住民の方々の立場に立って、福祉に関する相談・援助活動に携わるとともに、地域の関係機関・団体やボランティアの方たちと協力して、地域福祉のネットワークづくりに努めています。 なお、民生委員・児童委員の中には、児童や子育てに関わる問題を専門的に担当する主任児童委員がいます。

（施設数等は、令和5年4月1日現在）